



令和8年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和7年8月13日

上場会社名 イワブチ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5983 URL <https://www.iwabuchi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 秀吾

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長兼社長室長 (氏名) 富樫 一郎

TEL 047-368-2222(代)

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期第1四半期の連結業績(令和7年4月1日～令和7年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期第1四半期	3,127	11.7	358	128.3	405	119.6	270	123.1
7年3月期第1四半期	2,800	14.1	157	84.4	184	68.2	121	33.2

(注) 包括利益 8年3月期第1四半期 386百万円 (64.3%) 7年3月期第1四半期 235百万円 (21.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年3月期第1四半期	251.72	
7年3月期第1四半期	112.81	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年3月期第1四半期	25,612	20,487	76.0
7年3月期	25,464	20,252	75.5

(参考) 自己資本 8年3月期第1四半期 19,455百万円 7年3月期 19,236百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
7年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期		110.00		140.00	250.00
8年3月期(予想)		155.00		125.00	280.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

令和7年3月期配当の内訳 普通配当 220円00銭 記念配当 30円00銭 (上場30周年記念配当)

令和8年3月期配当の内訳 普通配当 250円00銭 記念配当 30円00銭 (創立75周年記念配当)

3. 令和8年3月期の連結業績予想(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,063	3.3	731	16.8	836	12.9	528	24.5	491.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

8年3月期1Q	1,100,000 株	7年3月期	1,100,000 株
---------	-------------	-------	-------------

期末自己株式数

8年3月期1Q	26,185 株	7年3月期	26,185 株
---------	----------	-------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

8年3月期1Q	1,073,815 株	7年3月期1Q	1,073,836 株
---------	-------------	---------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、設備投資は堅調に推移したものの、物価高の長期化などの影響から個人消費の伸び悩みが見られ、景気回復は足踏みの状況が続きました。

当社グループの主要需要であります電力分野においては、燃料価格の高騰などを背景としたコスト削減の取り組みが進むなか、高経年化設備の更新工事が進められ、情報通信分野においては、移動体キャリア工事は減少したものの光ネットワーク工事を含め、全般として堅調に推移しました。

当社グループにおいては、電力会社向けおよび情報通信事業者向け製品の販売に加え、脱炭素社会の実現に貢献すべく、再生可能エネルギー関連他の営業展開を行うとともに、耐震対策関連製品、自治体発注工事の受注にも取り組んでまいりました。また、資材・エネルギー価格の高騰に対応した販売価格の見直しは継続して進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,127百万円と前年同期に比べ326百万円の増収となりました。営業利益は358百万円と前年同期に比べ201百万円の増益、経常利益は405百万円と前年同期に比べ220百万円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は270百万円と前年同期に比べ149百万円の増益となりました。

なお、令和7年4月1日付で、新分野の開拓を視野に入れた営業機能の強化と、企業価値のさらなる向上を目的に、東京本社の開設ならびに営業企画部を新設し、今後多様化する顧客ニーズへの対応と中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

セグメントに代わる需要分野別の業績は、次のとおりです。

① 交通信号・標識・学校体育施設関連

交通信号関連は、全国的にLED化工事が進められていることから、好調に推移しました。学校体育施設関連は、防球ネット工事の受注減少により低調に推移しました。その結果、売上高は231百万円と前年同期に比べ4百万円の減収となりました。

② CATV・防災無線関連

CATV関連は、ケーブルテレビ事業者による更新工事が行われ好調に推移しました。防災無線関連は、デジタル化への更新工事が進められ堅調に推移しました。その結果、売上高は257百万円と前年同期に比べ61百万円の増収となりました。

③ 情報通信関連

情報通信関連は、通信事業者の光ネットワーク工事は堅調に推移しましたが、移動体キャリア工事は、工事が減少し低調に推移しました。その結果、売上高は756百万円と前年同期に比べ13百万円の減収となりました。

④ 配電線路関連

配電線路関連は、レベニューキャップ制度により、高経年化設備の更新工事が行われたことに加え、グループ会社を含め、顧客の要望に対応した新製品の投入や販売拡大に向けた営業活動を展開しました。また、資材・エネルギー価格の高騰に対応した販売価格の見直しも進めております。その結果、売上高は1,137百万円と前年同期に比べ125百万円の増収となりました。

⑤ その他

建設関連は、自治体発注案件の材料受注および防災・減災に向けた新製品の投入により好調に推移しました。機器関連では、防衛関連の無線システム装置の受注が好調に推移しました。その結果、売上高は744百万円と前年同期に比べ157百万円の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ148百万円増加し、25,612百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ231百万円増加し、13,197百万円となりました。これは、主に有価証券が200百万円、商品及び製品が315百万円、仕掛品が111百万円増加したことと、受取手形及び売掛金が151百万円、電子記録債権が247百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ82百万円減少し、12,414百万円となりました。これは、主に有形固定資産が31百万円および投資その他の資産が37百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ86百万円減少し、5,125百万円となりました。これは、主に賞与引当金が114百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ234百万円増加し、20,487百万円となりました。これは、主に利益剰余金が119百万円およびその他有価証券評価差額金が115百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和8年3月期の業績予想につきましては、令和7年5月15日に公表しました「令和7年3月期決算短信」における業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,114,691	6,161,707
受取手形及び売掛金	2,270,254	2,118,627
電子記録債権	1,251,207	1,003,390
有価証券	-	200,000
商品及び製品	2,391,948	2,707,037
仕掛品	383,640	494,841
原材料及び貯蔵品	455,964	403,300
その他	103,976	113,054
貸倒引当金	△5,352	△4,218
流動資産合計	12,966,330	13,197,741
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,349,641	1,336,283
土地	6,432,061	6,432,061
その他（純額）	841,576	823,179
有形固定資産合計	8,623,279	8,591,524
無形固定資産	274,892	261,100
投資その他の資産		
投資有価証券	2,872,489	2,835,020
その他	739,864	740,089
貸倒引当金	△12,750	△12,750
投資その他の資産合計	3,599,604	3,562,360
固定資産合計	12,497,775	12,414,984
資産合計	25,464,106	25,612,726

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	874,268	977,632
電子記録債務	609,350	603,135
短期借入金	208,060	221,384
未払法人税等	156,898	126,806
賞与引当金	262,619	148,592
その他	696,651	627,918
流動負債合計	2,807,847	2,705,469
固定負債		
長期借入金	502,765	456,146
役員退職慰労引当金	363,629	373,696
退職給付に係る負債	428,948	425,396
その他	1,108,507	1,164,797
固定負債合計	2,403,849	2,420,036
負債合計	5,211,697	5,125,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,496,950	1,496,950
資本剰余金	1,231,962	1,231,962
利益剰余金	15,268,672	15,388,635
自己株式	△152,730	△152,730
株主資本合計	17,844,855	17,964,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,152,423	1,268,257
為替換算調整勘定	238,748	222,405
その他の包括利益累計額合計	1,391,172	1,490,663
非支配株主持分	1,016,381	1,031,739
純資産合計	20,252,408	20,487,220
負債純資産合計	25,464,106	25,612,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
売上高	2,800,783	3,127,167
売上原価	1,917,536	2,022,575
売上総利益	883,247	1,104,592
販売費及び一般管理費	726,197	746,046
営業利益	157,050	358,545
営業外収益		
受取利息	29	2,177
有価証券利息	412	796
受取配当金	28,435	35,220
受取賃貸料	6,383	4,108
為替差益	-	9,470
持分法による投資利益	4,555	-
その他	2,149	1,251
営業外収益合計	41,964	53,024
営業外費用		
支払利息	1,633	1,382
為替差損	12,919	-
持分法による投資損失	-	5,035
その他	0	2
営業外費用合計	14,552	6,420
経常利益	184,462	405,149
特別利益		
固定資産売却益	20	37
特別利益合計	20	37
特別損失		
固定資産除売却損	6,377	43
特別損失合計	6,377	43
税金等調整前四半期純利益	178,104	405,143
法人税等	61,608	119,813
四半期純利益	116,496	285,330
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,647	15,033
親会社株主に帰属する四半期純利益	121,143	270,296

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
四半期純利益	116,496	285,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,415	117,733
為替換算調整勘定	34,470	△16,342
その他の包括利益合計	118,885	101,391
四半期包括利益	235,381	386,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240,453	369,787
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,072	16,933

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)

当社グループは架線及び機器用の支持部品である電気架線金物及びその他製商品の製造、仕入、販売を営んでおり、その事業が単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)

当社グループは主に架線及び機器用の支持部品である電気架線金物及びその他製商品の製造、仕入、販売を営んでおり、その事業が単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
減価償却費	90,199千円	99,313千円